

すこやか河内

河内地域学校園便り vol. 003 2011/3/7

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長をめざします ～

すこやか河内学校園本年度の活動をふりかえって



「すこやか河内学校園」のモデル地域学校園1年目の取組みの総括が、2月2日、岡本西小学校において開催されました。

河内中学校、岡本小学校、岡本西小学校3校の教職員が本校図書室に一堂に会し、全体会が開かれました。全体会の後、運営部会・学力向上部会・学校生活適応支援部会・体力増強・食育推進部会・交流連携促進部会5部会ならびに学校図書館部や事務部の分科会に分かれて1年間の取組みの振り返りを行いました。

小中一貫教育を通しての成果は、5年先、10年先を見越した中長期的な取組みとしてとらえなければならないと考えていますが、初年度は3校の教職員が学校間を行き来しながら膝を交え話し合うことによって、小中学校それぞれのよさを理解し合い、交流を深めることができたことは大きな成果であったと実感しています。

1年目は3校で相談をしながら、実施可能な事業からの試行錯誤のスタートでありました。今後は、おのおのの事業の成果や課題について検証し、さらに何ができるのか、何が必要なのかを見極め、じっくりと腰を据えて各事業に取り組んでいかななくてはならないと考えております。

また、次年度は『地域はみんなの学校』に向けた河内地域学校園協議会の取組みがスタートする予定です。これは地域人材をはじめとして、自然、文化、伝統などの高い価値を持った教育資源を子どもの「学び」に有効に生かすなど、地域の教育力を結集して小中一貫教育を推進しようとするものです。河内学校園内には、国立や県立病院などの公的施設、工業団地やスーパーマーケットなどの小売店、果樹や野菜などの農産物を生産する農家、特別支援学校や幼稚園・保育園などの教育機関など、多くの「教育資源」があります。そこに人的資源である地域の方の力をお借りしながら、今まで以上に子どもたちの体験学習や交流学習の『場』や地域みんなで「人づくり」を考える『機会』を増やしていきたいと思っております。

いよいよ新しい学習指導要領が、小学校では23年度より、中学校では24年度より完全実施となるわけですが、これからの社会では、狭い「学力」によってだけで、教育の成果を論じることはできなくなってきています。将来を担う子どもたちを、地域の皆様とともに育てていながら、ますます地域コミュニティも活発になっていく、そんな「すこやか河内学校園」の取組みを進めていきたいと考えております。

◎ 「宮・未来キャリア教育」の視点から = 児童・生徒を「自分好き」に =

児童・生徒にはぜひ、様々な体験をさせましょう。活動の種類を選ぶことなく、何でもどんどんやらせてみるのです。子どもを伸ばすのは、成功体験だけでは決してありません。時には失敗が大きな飛躍のチャンスとなることもあるのです。大人は、そんな彼らの日々の言動を観察し、肯定的な評価を返すことで励まし続けましょう。肯定的な評価は体験を経験に変え、児童・生徒の中に「キャリア」として蓄積されます。その蓄積された「キャリア」こそが、児童・生徒の自信の源となり、「自分好き」にさせるのです。

自分を好きな子どもは、将来の希望を描くことに意欲的になります。そして、その「将来」を実際に手に入れようと努力するはずで、「自分好き」な子どもは、何事にも頑張れるのです。

◎ すこやか河内学校園 4 部会 今年度のふりかえり

(1) 学力向上部会

平成 21 年度中学 1 年生をモデルに、小学 6 年生時及び中学 1 年時の学習内容定着度調査結果を考察し、本学校園児童・生徒の実態を把握しようとして試みました。そして、学力を向上させるための具体的な取組みとしての以下の手立てを考え、実行しています。

- ① 児童・生徒の発達段階に応じた「学習サイクル」を提示し、児童・生徒の学習への意識付けを図る。
- ② 栃木県教育委員会作成の「家庭学習のすすめ」を家庭に配布し、児童・生徒の家庭学習の習慣確立について、保護者の協力をお願いする。
- ③ 「学校園授業コンセプト」を設定し、学校園内の学びをつなぎながら、授業改革によって学力保障を図る。
- ④ 国語、算数・数学、英会話・英語の 3 教科について、9 年間を通した一貫指導が可能となるよう、学校園独自の指導計画を作成する。

(2) 学校生活適応支援部会

今年度の重点課題を「いじめ不登校等の減少に向けた小中連携のあり方」として、Q-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の結果を用いての事例研究や、各学校のいじめや不登校の実情についての情報交換等を行ってきました。

小中の教員が集まって研修を進めた結果、小学校の卒業時に気がかりだった子どもたちの現在の様子が伺えてとてもよかった、小学校と中学校の距離が縮まった、等の前向きな感想が聞かれました。今後も、小中の「今」がつながるような取組みをしたいと思います。

(3) 体力増強・食育推進部会

体力増強班では「小中が連携し、授業を通して、児童生徒の体力増強と体力づくりの習慣化を図る。」を課題に、「新体力テスト」と「うつのみや元気っ子運動プログラム」の結果から各校の努力点を見出し、共通して取り組む運動を検討しました。そして、来年度は「『鉄棒』を強化する。」を目標に、鉄棒で運動する児童生徒の姿を増やそうと考えています。

食育推進班では「給食指導の共有化」「残食を減らす」「お弁当の日」について協議してきました。学校給食にかかわる各校のスタッフが、給食の献立作りやお弁当づくりの指導について基本的なコンセプトを共有し、来年度の年間指導計画に反映させようと考えています。

(4) 交流連携促進部会

今年度、交流連携促進部会では主に「交流授業」と「小中の児童・生徒の交流活動」の 2 つを中心に、連絡調整を行ってきました。交流授業では、小学 6 年生が「早く中学校に行きたい」という感想を寄せてくれるなど、中学校進学時における不安の軽減に向けて手ごたえを感じることができました。また、交流活動では中学生と小学生が和やかに交流するなど、人間関係を深めることができました。来年度は、活動の時期や参加する教員、内容などをさらに工夫し、より良い連携ができるようにしていきたいと思います。

◎ お弁当の日 = 11/17 3校同じ日に設定 = [中学生のお弁当の例]



◎ 交流授業

(1) 中学校 伊藤教諭 (12/13 岡本西小 算数 12/22 岡本小 算数)

質問をすると多くの児童が手をあげて発言をした。また、解けた問題が合っているかどうかを確認しに来る児童もみられた。中学生になると間違えることが恥ずかしいと思ったり、まったく問題が分からなかったりなどして、手をあげて発言することは少なくなってくる。しかし、上手く生徒の意欲を引き出し、発言を促すような環境を作っていかなければならないと感じた。

(2) 岡本小学校 杉山教諭 (1/14 中学校 国語)

小学校から送り出した子どもたちが真剣に学習に取り組んでいる様子や中学校生活に順調に適應している様子を実際に見ることにより、一人一人の子どもたちの成長を感じるとともに、中学校の先生方の指導のすばらしさや日々の苦勞を感じることができた。加えて、基本的な学習習慣・技能について、小学校の段階で指導し定着させておかなければならない点のいくつかを把握することができた。

(3) 岡本西小学校 石坂教諭 (2/3 中学校 数学)

数学のティーム・ティーチング(二人の教員による協同授業)で、空間図形について指導した。教材を研究しながら、小学校の学習内容の定着が強く求められることがわかった。また、用語の定義もしっかりできていないと、学習が積み重なっていかないということがわかった。小学校での基礎・基本の指導の徹底については、今後も強く望まれるものであることをあらためて確認した。



◎ 中学校説明会

= 岡本小 1/18, 岡本西小 1/20 =

岡本小には古里中と河内中の生徒会役員各2名と教員が、岡本西小には同小卒業生の中学校生徒会役員と生徒指導主事がそれぞれ来校し、中学校の生活・学校行事・学習・家庭学習・部活動・生徒会活動等について、6年生に詳しく説明をしてきました。児童はみな、真剣なまなざしを向けて聞き入っていました。説明後には、児童からの質問に答える時間を設け、中学生が直接答えてくれました。

 6年生に感想を聞いてみました。 

- ◆ 上級生がこわくて中学校へ行けないんじゃないかと心配していましたが、生徒会のお姉さん・お兄さんがやさしくアドバイスしてくれたので、安心して中学校へ進学することができます。
- ◆ テレビを使い、中学校の先生や部活・行事の説明をしてくれたので、中学校がどんな所なのかが詳しく分かりました。早く中学校へ進学したいです。
- ◆ 部活動のことを一番知りたかったので、部活動全ての説明や、先輩からのメッセージ等が詳しくあったので、よく分かってよかったです。



◎ 臨海自然教室

2月14日(月)から16日(水)の2泊3日、とちぎ海浜自然教室で5年生の臨海自然教室がありました。すこやか河内学校園の児童同士、宿泊棟や食堂で活発に交流することができました。

二日目の夜の自由時間には、両校の子どもたちが自然に触れ合えるようにと「ジェンガ」「オセロ」「トランプ」等をして、岡本小と岡本西小の合同班で遊びました。その後、自由におしゃべりをする時間があり、「どこの幼稚園・保育園だったか」等の話で盛り上がりました。文字通り寝食を共にし、より深い交流ができました。

[5年児童の感想] ●岡本小 ■岡本西小

- 岡本西小の人をぜんぜん知らなかったけれど、一緒に遊んでいるうちに仲良くなりました。幼稚園の頃の友だちにも会いました。岡本西小の人たちは明るく、楽しかったです。
- 幼稚園の時の友だちに会えてなつかしかったです。遊んだりおしゃべりしたりして、幼稚園の時のことを少しずつ思い出しました。岡本西小の人たちと交流できてよかったです。特に夜のフリースタイルでは、学習コーナーでいろいろなゲームをしました。
- ジェンガで岡本小と対戦しました。その後ドミノをやりました。他の学校の人と遊ぶことはほとんどないけど、知らない学校の友だちと遊べて楽しかったです。
- ぼくは臨海自然教室で岡本小の子と夜遊びました。いろいろな道具がありましたが、ぼくはの中で、ジェンガで遊びました。とても楽しかったです。この夜、岡本小の友だちとジェンガができてよかったです。できればまた遊んでみたいと思いました。



◎ 特別支援学級合同校外学習



河内中・岡本小・岡本西小と一緒に活動



2月3日(木)に特別支援学級合同校外学習が、なす高原自然の家にて実施されました。河内中・岡本西小・岡本小からそれぞれバスに乗り出発しました。車内では中学生の司会進行による自己紹介が楽しく行われ、すぐに打ち解けました。2～3名の縦割りの班に分かれ、雪の中での活動を楽しみました。そりすべりやかまくら作り、ウサギやキツネの足跡探し等、時間を忘れて活動できました。入・退所式も含め、全ての面において中学生のリードが光りました。小学生は安心して、思う存分活動できました。

さすが上級生です。頼もしく思うと同時に、このような合同学習の意義を改めて確認できました。



…担任の感想…

★ 特別支援学級では今回初めて、すこやか河内学校園内での小中交流が行われ、縦割り班での活動から得られるものが多くありました。上級生が下級生の面倒をみることで、下級生は上級生の指示に従って仲良く楽しく活動する、という社会性が育まれると感じました。今後も継続していきたいと思えます。